

平成29年度

# 広報常任委員会 研修報告

期 日：平成29年9月28日（木）

研修場所：シェーンバッハ・サボー（東京都）

研修内容：

1. 一議会広報紙の文章―「伝える広報」から「伝わる広報」へ

小田 順子 氏（株式会社ことのは本舗代表取締役、  
日本広報協会広報アドバイザーなど）

2. 議会広報 広報紙×電子広報 なにがどう変わってきたか！

吉村 潔 氏（エディター、広報アナリスト）

3. 第31回議会広報コンクール トップ2 クリニック

優秀賞受賞紙から学ぶ

芳野 政明 氏（議会広報サポーター）

## 国見町議会

ページ

松 浦 和 子 委員長	・・・・・・・・	2～3
東 海 林 一 樹 委員	・・・・・・・・	4
八 島 博 正 委員	・・・・・・・・	5
佐 藤 定 男 委員	・・・・・・・・	6

# 平成29年度町村議会広報研修会報告書

平成29年10月6日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 松浦和子

## 【研修内容】

### 1. 一議会広報紙の文章—『伝える広報』から『伝わる広報』へ

(講師：株式会社ことのは本舗代表取締役 小田 順子 氏)

#### 1) わかりやすく書くテクニック 誰も教えてくれなかった文章・メール術

(1) 見やすい文章の作り方 (2) 読みやすい分の書き方

(3) わかりやすい文章の書き方

のポイントや写真の使い方、不必要な語は削る。文章を書くときは重要な部分から書いてみるのが大切。無駄に長い文章にならないよう過剰な敬語表現を避ける。敬語はシンプルに「です」「ます」で話すことが大切である。

#### 2) 伝わる文章の書き方 ターゲティングと傾聴力

(1) 読みたくなる文章の書き方 (2) 伝わる広報文の作成手順

については、ターゲットを具体的に描く、ターゲットの言葉を使う。役所などの公用文はなんらかの条例に基づいて作成、素人向けに書き換えたのが報道文である。よく聴いて(調べて)、よく考えて書き始める。

講演の最後に、

●理解しやすい文章の書き方 ●伝わる文章の書き方 ●「聴く」方法  
の3点をまとめとして終わった。

### 2. 議会広報 広報紙×電子広報 なにがどう変わってきたか!

(講師：エディター、広報アナリスト 吉村 潔 氏)

議会広報のさらなる活性化へ

なにがどう変わってきたか、以下の5点についての講演

●議案審議のまとめ ●予算・決算の広報 ●委員会活動  
●特集を組む ●様々な形の住民参加

### 3. 第31回(平成28年度)議会広報コンクール トップ2 クリニック

(講師：議会広報サポーター 芳野 政明 氏)

全国2位の岩手県金ケ崎町「議会だより かねがさき」と全国1位の宮城県利府町「りふ 議会だより」のクリニック。

金ケ崎町「議会だより かねがさき」は12年連続ベストテン入り、また利府町「りふ 議会だより」は6年連続入賞と2紙とも入賞の常連議会である。大見出し、小見出しの重要性、写真の使い方などレベルの高い講義であった。

## 【感想】

大変有意義な研修であった。文章の書き方、言葉の使い方、敬語の使い方など気づかされることの多い講義が続いた。時間は長かったが、3人の講師先生の講義はさすがに無駄がなく話がおもしろかった。今後の議会だより作成に活かしていきたい。

以 上

# 平成29年度町村議会広報研修会報告書

平成29年10月3日

国見町議会議長 東海林一樹

## 【研修内容・感想】

1. 講師：小田 順子 氏（ことのは本舗代表取締役 日本広報協会アドバイザー）  
「伝える広報」から「伝わる広報」へ、と題し読みやすい文章の書き方、わかりやすい文章の書き方などを具体的に教えていただいた。  
中でも、例文があつて、それを書き換えることで読む者には要件が単刀直入にわかる文章になるのだなと思ひ、大変勉強になった。
2. 講師：吉村 潔 氏（エディター、広報アナリスト）  
議会広報なにがどう変わってきたか、と題して紙面の作り方を学んだ。  
中でも、ネットの利用のしかた、ホームページを機能させる、紙からネットに接続するなど、無料アプリの活用などを学んだ。
3. 講師：芳野 政明 氏（議会広報サポーター）  
「第31回議会広報コンクール トップ2 クリニック 優秀賞受賞紙から学ぶ」と題し、岩手県金ヶ崎町と宮城県利府町議会の議会だよりの優れているところを具体的に指摘をして説明があり、また、このあたりはこうしたほうが良かったなどと具体的に取上げての説明だったので、とても参考になった。

以上

## 平成29年度町村議会広報研修会報告書

平成29年9月29日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 八島博正

### 【研修内容】

(1) 議会広報紙の文章「伝える広報から伝わる広報へ」

(13:00～14:00)

講師：小田 順子 氏

(2) 議会広報 広報紙×電子広報なにがどう変わってきたか

(14:15～15:25)

講師：エディター 吉村 潔 氏

(3) 第31回議会広報コンクールトップ2クリニック 優秀賞受賞紙から学ぶ

(15:40～17:00)

講師：議会広報サポーター 芳野 政明 氏

### 【感想】

(1) 広報紙の文章の書き方について、改めて読ませる文章の書き方について学ぶことができた。

(2) 吉村先生の話は、県の研修会に次いで2回目だった。今日の話で広報紙の変遷についてと現況、将来についてわかりやすく説明があり、議会そのもののあり方についてまで勉強することができた。

(3) 岩手県金ヶ崎市および全国トップ賞の宮城県利府町の両議会紙ともさすがに素晴らしい。

今回の研修会は素晴らしいものだった。

以上

# 平成29年度町村議会広報研修会報告書

平成29年10月3日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 佐藤定男

## 【研修内容】

1. 「伝える広報」から「伝わる広報」へ（講師：小田 順子 氏）
  - 文章も見た目が大事。短くビジュアルに、図表やイラストを入れる。
  - 1文65字以内で書く。不必要な語は削り、過剰な敬語表現を避ける。
    - ・禁止させていただいております。⇒ 禁止しております。
  - 結論を先に言う。論理的な文章は理解しやすい。（新聞記事、小論文など）
  
2. 広報紙 何がどう変わってきたか（講師：吉村 潔 氏）
  - 情報伝達の多様化
    - ・スマートフォンの伸びが著しい。機能を生かし議会の情報も手軽に読める。
  
3. 広報コンクール 優秀賞受賞紙から学ぶ（講師：芳野 政明 氏）
  - 岩手県金ケ崎町議会と宮城県利府町議会の広報紙をクリニック
    - ・どんな記事にも（小）見出しをつけると内容が素早く理解しやすい。
    - ・ありふれた記事にもちょっとした工夫（味付け）が見られる。  
（議員の自己紹介で写真に「吹き出し」を入れている 等）

## 【感想・意見】

- 記事はとにかく簡潔に、わかりやすい言葉で、ビジュアル良く作成すべし。
- 情報媒体の機能が進化し、議会広報もスマホで見られる時代がくるかもしれないと感じた。

以上